

# 第12回農業女子プロジェクト 推進会議

2023.11.24

- ✓ 本日の会議は録画させていただきますので、予めご了承ください。
- ✓ (オンライン参加の皆様)回線状況等により、接続が切れることがあります。再起動の後、同一アドレスからご入場ください。
- ✓ 発表、発言以外では、カメラオフ、ミュートにしてお聞きください。意見交換の際には、カメラオンにしてご参加ください。

農業女子プロジェクト10周年を記念して、  
設立当初から参画し、この10年間、女性農業者の活躍  
に貢献していただいた7社の企業の皆様に、  
農林水産大臣宮下一郎からの感謝状を授与いたします

## 第1期(2013.11~)からの参画企業7社

### 井関農機株式会社

女性が使いやすいトラクタ、耕耘機、草刈り機を開発



### サカタのタネ株式会社

農業女子がお勧めする野菜品種をシリーズ化



### ダイハツ工業株式会社

女性目線の軽トラック（UVカットガラス等）を開発



### 株式会社タニタ

丸の内タニタ食堂での農業女子の生産物を使ったメニュー提供



### 株式会社丸山製作所

女性が使いやすい草刈り機や動力噴霧機を開発



### 株式会社モンベル

機能素材を使い農作業に適したつなぎ、レインウェア、クールパーカーを女性目線で開発



### 株式会社三越伊勢丹

農業女子の生産物を使った中元・お歳暮のギフト商品の販売、店舗イベントでの農業女子の出店



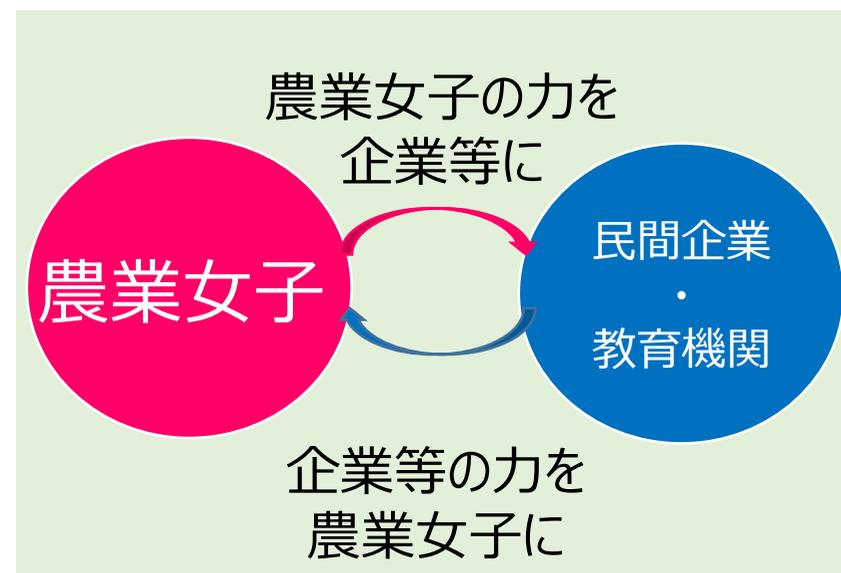
- ◆ 女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウ、アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信。
- ◆ プロジェクトを通して、**社会全体での女性農業者の存在感**を高め、**経営力の向上**を図り、**職業としての農業を選択する若手女性の増加**をめざす。

## 個別プロジェクトの推進

企業と女性農業者が協同で、新たな商品やサービス等を開発。農業女子の持つ3つのチカラ「生産力」「知恵力」「市場力」が発揮。

## プロジェクトの広報活動

個別プロジェクトの進捗状況、イベントの開催等のプロジェクトの活動を発信 等

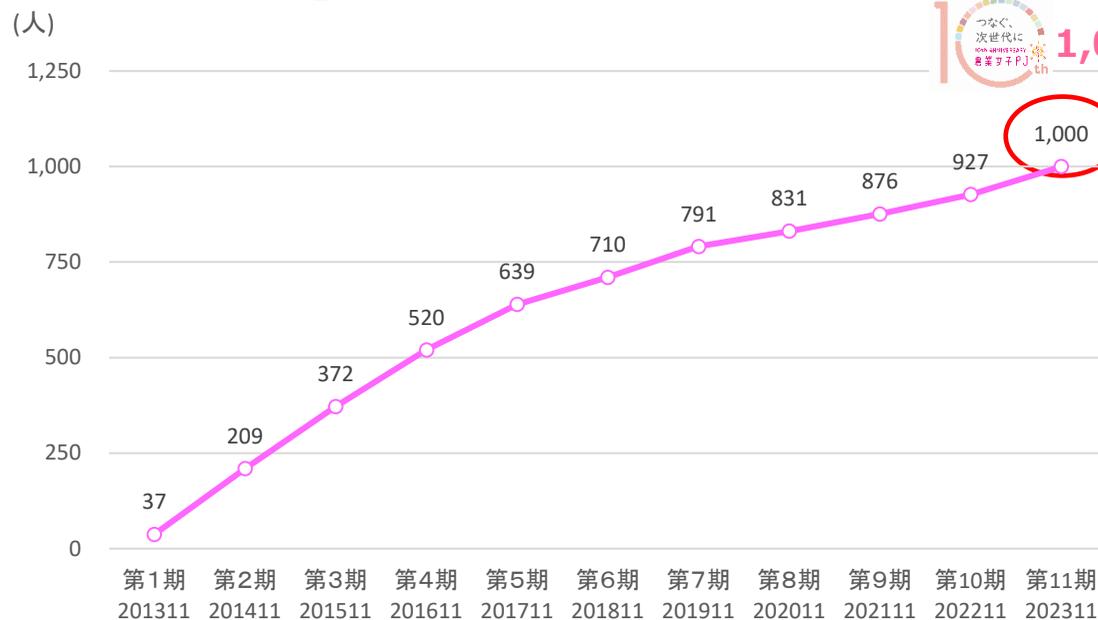


## 広く社会に発信

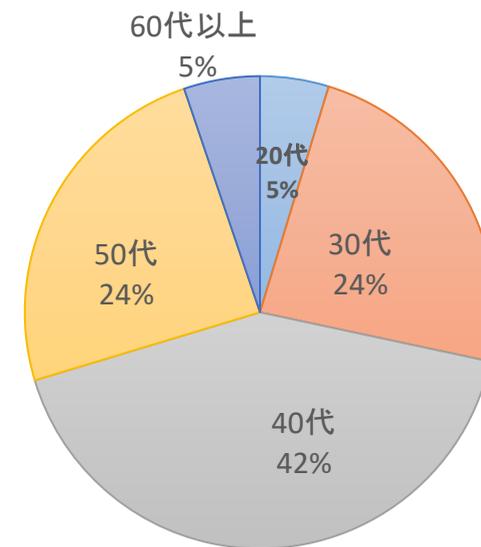
女性農業者の存在感を高める、企業連携によるビジネス発展、女性の職業選択肢に農業を！

## 農業女子プロジェクトメンバー ついに**1000名達成**しました！

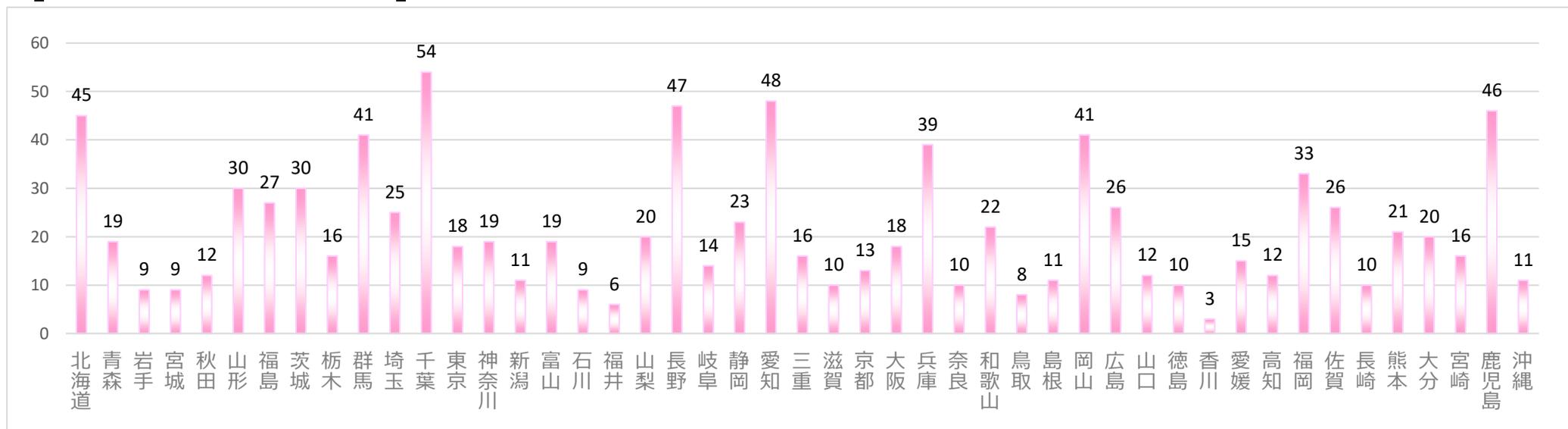
[メンバー数推移]



[メンバー年齢構成]



[都道府県別メンバー数]



# 農業女子プロジェクト10年間の歩み（第1期～第5期）

- ◆ 2013年11月より始動した「農業女子プロジェクト」は2023年11月に10周年を迎えました！
- ◆ 第1期～5期には、企業プロジェクト、地域グループ、はぐくみ活動等プロジェクトの基盤となる取組が次々と作られました

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2013.11～	2014.11～	2015.11～	2016.11～	2017.11～
主な取組	<p><b>農業女子PJ始動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・37名のメンバーでスタート</li> <li>・企業と連携した「企業プロジェクト」を中心に活動を実施</li> </ul>  	<p><b>地域版グループの登場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業女子PJ初の地域版グループ「岡山農業女子」の結成</li> </ul>  	<p>農林水産省イベントへのブース出展等、広報活動を積極化</p> 	<p><b>「チームはぐくみ」スタート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関2校が連携し、次世代の女性農業者を育成する活動がスタート</li> </ul> 	<p>メンバーの自主的勉強会「農業女子ラボ」の始動</p>  

# 農業女子プロジェクト10年間の歩み（6期～10期）

- ◆ コロナウィルス感染症による影響が多い中でもメンバー数は増加
- ◆ オンラインでの配信が充実し全国のメンバーの活動参加が容易に

	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2018.11～	2019.11～	2020.11～	2021.11～	2022.11～
主な取組	<p>農業女子が取り組むSDGsの発信</p> <p>地域グループ活動の活性化</p>  	<p>★コロナ感染症の拡大</p> <p>グループ間ネットワークづくりの促進</p> 	<p>オンラインによる会議やセミナー開催の促進</p> <p>個人のネットワークづくり</p> 	<p>「農業女子アワード2022」開催</p> <p>「農」の魅力発信への取組</p> <p>今後のプロジェクトのあり方を検討する「未来につながる会議」を開催</p> 	<p>「NEXTラボ」トライアルの実施</p> 

◆ 農業女子プロジェクトメンバーの意見を取り入れて、女性が使いやすいように開発したものが、標準仕様へと進化

## ジェンダーイノベーションとは

### <ジェンダーイノベーションとは・・・>

研究・開発のデザインに、積極的に性差分析を組み込むことで、科学技術分野におけるイノベーションと発見を実現しようとするアプローチをジェンダーイノベーションといいます。(お茶の水大学ジェンダーイノベーション研究所HP より)

### <11月8日放送 NHKクローズアップ現代>

農業女子プロジェクトと井関農機株式会社との商品開発のストーリーがジェンダーイノベーションの事例として紹介されました。



“性の違い”がイノベーションに 病やけがのリスクを減らせ!  
初回放送日: 2023年11月7日

今、男女の違いを科学的に分析することで社会を変えようとする“ジェンダーイノベーション”が注目を集めている。医療分野では、男女でなりやすい病気に違いがあることが明らかに。1 自動車業界では、衝突実験を女性や子どものドミナー人形で行うなど、事故リスクの低減につなげている。さらには、女性にだけ向けられる開発やスポーツシューズの改良まで、誰もが生きやすい社会につながる、性の違いから生まれる変革に迫る。

(出典) NHKクローズアップ現代HP



<井関農機(株) つくば未来事業所での取材の様子>  
メンバーの榎本房枝さん(埼玉県)、高橋美千子さん(神奈川県)、吉川文さん(愛知県)が協力

## ①井関農機株式会社 ★事例発表

きっかけは“農業女子”の声。  
みんなに使いやすい耕うん機できました。



農業女子とのコラボ第1弾トラクタ「しろプチ」の商品化を通して、女性目線を織り込んだ農機は、みんなに使いやすい農機ということを改めて実感しました。  
農業女子の声をきっかけに、一般から農業者の方まで“みんなに使いやすい”ミニ耕うん機「ちよこプチ」をつくりました

農業女子とのコラボ第1弾トラクタ「しろプチ」の商品化を通じて、女性目線を織り込んだ農機は、みんなに使いやすい農機ということを改めて実感しました。(ちよこプチ発表時のフライヤーより)



PJメンバーの意見を取り入れ、機械操作が不慣れな女性が使いやすいよう、耕うん機等に二次元コードを貼付

現在は標準仕様に  
女性が使いやすい=誰でも使いやすい機能に!

- ◆ 農業女子プロジェクトメンバーの意見を取り入れて、女性が使いやすいように開発したものが、標準仕様へと進化

## ② 農業女子的トイレ

### <レンタルのニッケン>

女性が働きやすい環境整備の一つとして、企業プロジェクトとして農業女子的トイレを提案。



女性の働きやすい環境づくりの重要性が認識され、補助事業において支援。



### <女性が働きやすい環境整備>



株式会社エスケイサービス  
小早川さえ子さん（山口県）



安心して休めるようになり  
気兼ねなくトイレや着替えが可能に

## ③ ダイハツ工業株式会社

メンバーの意見を取り入れ、白色が基本だった軽トラックをカラフルに。  
UVカットガラス、小物入れ等を充実させ、農業女子パックとして発売。



カラフルな色の展開、UVカットガラス、小物入れは標準装備に！



## ④ カネコ総業株式会社

メンバーの意見を取り入れ、軽くて使いやすくかわいい農具を開発

桜の花型にくりぬいて軽化した「Lacuno桜ショベル」開発



桜の花型にくり抜いてあるため、くっつきやすい粘土質や水気の多い土地でも効率的に作業ができ、長時間の作業時の負担軽減。  
男性からの引き合いも！



- ◆ 特設webサイト「わたしたちの未来への種まき」を開設
- ◆ 農の未来を考える1dayイベント開催
- ◆ ショートムービーの制作

10周年記念ロゴ

10th ANNIVERSARY  
農業女子PJ 



## 特設webサイト「わたしたちの未来への種まき」

一般の方に「農」を身近に感じてもらうことを目的として10月10日に開設

### <コンテンツ>

- 各地の「農業女子に会えるイベント」「農業女子が学べる」イベントを掲載
- 11月25日開催「農」の未来を考える1dayイベント「私たちの未来への種まき」詳細
- 地域取材
- ショートムービー



特設webサイトQRコード



## ショートムービー「わたしたちの未来への種まき」

PJメンバーに「農」への想いを撮影した動画や写真を提供いただき、ショートムービーを作成しました！



## 農の未来を考える1dayイベント 「わたしたちの未来への種まき」開催

一般参加者100名を対象に、料理家の和田明日香さん、インフルエンサーの月野亜衣さんと農業女子メンバーのトークイベントを開催します。

### <イベント詳細>

- トークショー  
料理家和田明日香さん、インフルエンサー月野亜衣さん、農業女子メンバー高橋七海さん（埼玉県）、迫智子さん（鹿児島県）、MCのクリス智子さん
- 農業女子メンバーの食材をつかった軽食提供
- 農業女子メンバーによる試食&展示
- なりきりフォトブース（モンベル、カネコ総業提供）
- アンケートに答えて「種」をプレゼント

